

2016 年度年次大会 熱工学部門報告

第 93 期熱工学部門年次大会委員会

委員長 河野正道 (九州大学)

幹事 渡邊裕章 (九州大学)

日本機械学会 2016 年度年次大会が 9 月 11 日 (日) ~ 14 日 (水) に亘り、「新たな価値の創造を担う機械工学」をキャッチフレーズに九州大学伊都キャンパスで開催されました。まず 4 日間の会期の初日には、例年と同様に市民公開行事が行われ、種々のフォーラム企画に多くの方に参加して頂きました。

熱工学部門に関連した学術講演では、7 つのセッションからなる「熱工学一般セッション」において、37 件の講演が行われました。講演内容毎の内訳は、伝熱関連：27 件、燃焼関連：10 件であります。また、年次大会の大きな特色である「部門横断セッション」も、以下の通り数多く実施されました。

オーガナイズドセッション (7 件、講演数合計：92)

- 電子情報機器、電子デバイスの強度・信頼性評価と熱制御 (計算力学部門, 材料力学部門, 熱工学部門), セッション数：1, 講演数：5
- 流れの先端可視化計測 (流体工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 熱工学部門, バイオエンジニアリング部門, エンジンシステム部門), セッション数：2, 講演数：11
- 乱流における運動量, 熱, 物質の輸送現象 (流体工学部門, 熱工学部門), セッション数：2, 講演数：11
- マイクロ・ナノスケールの熱流体现象 (流体工学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門), セッション数：5, 講演数：28
- 分散型エネルギーシステム (動力エネルギーシステム部門, 熱工学部門, 計算力学部門), セッション数：2, 講演数：9
- 燃料電池・二次電池とマイクロ・ナノ現象 (マイクロ・ナノ工学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 材料力学部門, 計算力学部門), セッション数：4, 講演数：23
- 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発 (医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門), セッション数：1, 講演数：5

熱工学部門では、本年度から熱工学部門に関連するご講演に対する審査を「若手優秀講演フェロー賞」のみとして行いました。審査を行う際に、多くの先生方にご協力をお願い致しました。この場を借りまして御礼申し上げます。

部門同好会は、計算力学部門, 流体工学部門と合同で 12 日夕方に周船寺駅近くの割烹料理屋で開催され、合計約 34 名の参加を頂きました。くつろいだ雰囲気の中、大変盛況でありました。

最後になりましたが、今年度の年次大会の企画・運営にご尽力いただきましたオーガナイザー, 講演者, 座長の皆様に厚く御礼申し上げます。2017 年度に埼玉で開催される次回の年次大会と部門同好会では、さらに多くの皆様のご参加を賜り、研究交流と親睦を深めて頂けますよう祈念致します。



年次大会総合プログラム表紙